

## 私のくらし、地域の歴史⑦

福生市公民館白梅分館（白梅会館）以下「白梅」という。昭和55年5月開館。）ができる以前、その場所に福生第二小学校（以下「二小」という。）のプールや学童保育のプレハブの建物があったそうです。その頃を知っている利用者の竹田さん、小林さん、森田さんの3人にお集まりいただき、お話をうかがってみました。（プロフィールは左枠内をご覧ください。）

小林さんや竹田さんがお嫁に来た昭和30年代や森田さんが子どもだった昭和20年頃までさかのぼって、思い出話に花が咲き、予想以上に昔のくらしや様子もお聞きすることができました。その内容も含め、簡単にまとめて頂きました。（文責は白梅分館）

### お話をうかがった方々のプロフィール

○竹田政枝さん（79歳）

昭和32年、結婚によりあきる野市から熊川に住む。公民館白梅分館開館以来の利用者。白梅利用者交流会の役員を歴任。ご本人もPTAとして子どもの付き添いで当時のプールで泳いだ経験あり。

○小林道子さん（78歳）

母の実家は中福生で、昭和34年に結婚により立川から熊川に住む。昭和38年6月から同年10月まで二小で音楽の産休代替教員、昭和50年ごろから学童保育（たんぼぼクラブ）の指導員に。

○森田芳伸さん（70歳）

熊川生まれの熊川育ちで福生第二小学校卒業生。お子さんが当時のプールで泳いでいた。現白梅利用者交流会代表。

\*10月19日にお集まりいただきお話をうかがいました。

### ☆昭和20年代～30年代

#### 【二小の周りは畑がいろいろ】

竹田さんが福生に嫁いで来た頃は、周りに家が3軒しかなく、畑ばかりだったそうです。

小林さんは結婚する前に、二小に研修会が来て来たことがありましたが、校舎は木造でうなぎの寝床のような細長い建物だったそうです。

森田さんが小学校高学年の頃、現在の白梅の門の方から、現在の二小のプールの方へ向って徒競争をしたことがあり、途中で農道もあったそうです。

また小学校の垣根はお茶の木だったので、子どもたちは新茶を摘んだり、秋にはお茶の実を拾ったりもしたそうです。しかし、毛虫に刺されてまいったと、森田さんは当時を懐かしそうに語ってくれました。

#### 【白梅の中庭に家があった】

森田さんによれば、白梅の中庭の花壇のところに、家が1軒あった記憶があるとのこと。そこで、昭和23年頃から近くに住んでいる「熟陶会」の齋藤マサ子さんに尋ねたところ、人家があったことがわかりました。

そして、その家を壊さないで、そのまま近所に引っ張っていき、そこは今でも貸家として健在なのだそうです。

当時を知る「白梅俳句会」の中村生子さんによれば、その他に教員住宅が2棟あり、サツマイモ畑が一面に広がっていたそうです。

#### 【隣に芝居小屋があった！】

森田さんのお兄さんは37年上の昭和13年生まれで、時々、現在の白梅がある場所の隣にあった芝居小屋に芝居を見に来ていたのだそうです。森田さん自身は、まだ小さかったせいで記憶がないそうですが、当時コロッケが1個5円で買えたのは覚えていてるそうです。当時は、コロッケは珍しいハイカラな食べ物だったのでしょう。（たまり場通信第5号（平成22年1月発行）には現在の佐渡製作所のあるところに「昭盛館」という娯楽の殿堂があったことが報告されています。）

#### 【多摩川の様子】

森田さんが小学生の頃は、小学校にプールが無かったため、多摩川に泳ぎに通ったそうです。その頃、多摩川には大きな橋は多摩橋だけで、睦橋のところには板を渡したような小さい橋がかかっていただけでした。その橋の上流側の川の曲がったワンドの部分（通称「こぼん」※1）は深いので、そこで泳いだのだそうです。

その頃は、小河内ダムもなかったため、水量が今よりずっと豊富でした。また台風や大雨があると、上流から大きな流木や木片が流れて来たので、それを拾って来て、冬の間暖をとるためのたきぎにしたり、風呂やへっつい（釜戸）のたきぎにしたそうです。



多摩川での水泳・撮影年代は不明。  
（写真提供：福生第二小学校）

### 【子どもの頃や結婚した頃の生活】

森田さんが小学生の頃は子どもであっても、学校から帰って来ると、弟や妹を背負わされたりしながら、遊んだのだそうです。また子どもを背負っているとき重くなるので、うどんを踏んでこねるのにちょうどよかったのだそうです。

竹田さんも小林さんも、みなさん小さい頃は、風呂焚きやまき割り、煙突の掃除など、家事手

### ☆昭和50年代〜白梅開館（昭和55年）の頃まで

#### 【白梅が出来る前はプールがあったー】

二小にプールができたのが、昭和35年、竹田さんによると昭和50年代前半までプールがありました。※2

当時二小の子どもたちは、水着を着て道路を渡ってプールに通っていたので、PTAからは、交通事故が心配という声もありました。

『四十周年』（福生市立福生第二小学校PTA）によれば、プールの移転は校庭が狭くなる、など



旧二小プール・撮影年代は不明。  
(写真提供:福生第二小学校)



旧二小プール・撮影は昭和54年頃。(昭和54年度卒業文集「巣立ち」から転載。提供:福生第二小学校)

伝いをするのが当たり前だったそうです。

竹田さんが結婚した頃も、まだ水道もガスも無いので、井戸で水を汲んだり、お風呂も「もらい湯」といって、親戚の家の風呂に入りに行くような生活だったそうです。

風呂を焚くにも、水を運んだり、まきをくべたりするので、何かとトラブルの種になったと笑いながら語ってくださいました。

の声もあったようです。

#### 【学童保育の建物がボロボロだった】

小林さんは、昭和50年代はじめに二小の学童保育たんぼクラブの指導員だったそうです。当時、学童保育があるプレハブの建物がプールの裏（現在の白梅分館の裏庭）にありました。

プールの脇を通っていくその草むらには、時々へびも出没したのだそうです。そのプレハブの建物は古く、夏は室内が42℃にもなり、冬はストーブ一つで暖をとり、雨漏りもしたりで、それは子どもたちにとって悲惨なものだったと言います。

小林さん達指導員は、当時、このことを行政に何度も訴えていたそうです。（たんぼクラブが開設されたのは昭和45年、当初は二小の校舎内で保育を行っていたそうです。）

白梅建設にあたり、たんぼクラブは近所に土地を借り、プ

レハブをリースして保育を行っていたそうです。

#### 【白梅の開館と学童保育】

こうして昭和55年、二小のプールの跡地に白梅は開館しました。地域会館としての白梅会館と公民館分館としての公民館白梅分館、そして児童厚生施設（学童保育たんぼクラブ）が併設された建物です。

小林さんのお話によると、当時、学童保育のおやつ代は、福祉の予算で賄われていて、えびせんのようなものが10片におせんべいが一枚と、今から考えるとわずかなものだったそうです。

#### 【白梅裏庭の畑の経緯】

現在、白梅分館の裏庭の畑では、公民館主催事業の「地域の食育講座」で、親子やたんぼクラブの子どもたちと共に、さつまいもやのらぼうを育てています。

この畑は、白梅開館時に、小林さんが近所の建設現場から残土をトラック2台分入れてもらい、子どもたちとさつまいもや小麦などを作ったのが最初だったそうです。

未だに、さつまいもを作っていることを知り、小林さんも白梅の職員も、互いに感無量でした。

#### 〇お話を聞いて……

もし、小林さんが白梅の学童保育に勤めていたら、しゅらなかつたら、白梅裏庭の畑で、サツマイモを植えたり、長期の食育講座が組めなかつたでしょう。また竹田さんや森田さんが白梅の近くに



平成23年11月12日に「親子の食育」講座でさつまいもの収穫をしました。写真上は収穫を前に畑に集合する参加者、写真右は親子でいもを掘っている様子です。(苗植えは6月18日に行いました。)



お住まいでなかったら、白梅利用者交流会も違ったものになっていたかもしれません。

現在の70代の世代が育つたり、嫁いだ頃、つまり昭和20年代から30年代にかけては、場所によってはガス・水道のライフラインもなく、洗濯機のような電気製品ははじめ多くの文明の利器はありませんでした。

子どもも立派な働き手として、弟妹の世話や家事を手伝いました。それだけに、今では考えられない程家族の絆が強かったのかもしれない。だからこそ、困っている家族や人を見ると、何か手助けできないかと、家族だけでなく地域のことにも目を向け協力し合うのだと、改めて感じました。

※1 「プールができる以前」亀田宏(『福生第二小学校創立百周年記念誌』87P)。文中、多摩川での水泳に関する記述のほか、プールができる以前にこの場所に教員住宅2棟があったことや運動会の100メートル走のスタート地点であったことが記されています。

## 寿市民ひろば 人生うたい語りのつどい

公民館各館の高齢者対象事業の発表の場、市民の皆さんが集う場として毎年お楽しみいただいています。みなさんのご来場をお待ちしています。

日時 12月9日(金)  
午後1時30分～3時30分

場所 市民会館小ホール(つつじホール)

内容 公民館本館「合唱コース」の発表と「折り紙コース」のミニ展示。白梅分館「うたごえ喫茶しらうめ」では思い出の曲をみなさんと。松林分館「ハンドベル講座」の発表や松林分館利用サークルの歌やインドネシア舞踊。最後に全員で大合唱を!

定員 先着260人 ※当日、直接会場へ

問合せ 公民館事務所 ☎552-2118へ

※2 昭和35年、二小のプールが現在の白梅の場所に竣工されました。その後、昭和54年に白梅建設のため取り壊され、昭和55年3月に新しく校庭内に現在のプールが移転竣工しました。昭和54年度に二小の6年生だった清水義朋さんによれば、6年生の時にこの(古い)プールで泳いだ記憶がある、とのことでしたので、取り壊しは昭和54年の夏以降であったと推察されます。なお、白梅の建築にかかわる契約書によると工期が昭和54年10月23日からとなっています。

### 【参考文献】

- 『福生第二小学校創立九十周年記念誌』
- 『福生第二小学校創立百周年記念誌』
- 『福生第二小学校百年のうつりかわり』
- 『巣立ち』昭和54年度卒業文集
- 『四十周年』(福生市立福生第二小学校PTA)
- 『昭和55年度学校教育指導要覧』福生市教育委員会
- 『白梅分館10年のあゆみ』
- 『たまり場つつしん第5号』

## 公民館白梅分館主催事業の「ごあんない

※お問い合わせは公民館白梅分館☎553-3454へ

### ウィンターコンサート

子どもから大人まで、気軽に楽しめる音楽会です。プログラムは、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」など。二人のオペラ歌手の方をゲストに楽しく上演します。

ミュージックベルと歌によるクリスマスソングの演奏もありますので、お楽しみに!



日時 12月24日(土) 午前10時45分～正午

場所 公民館白梅分館

対象 市内在住の方(未就学児は保護者同伴)

定員 先着90人

出演 山下やよい氏(ピアノ)、横田郁子氏(ソプラノ)、浜島美穂氏(メゾソプラノ)ほか

※入場無料、直接会場にお越しください。

### 親子のための食育(後期)「味覚と健康」

三つ子の魂百までの例えのように、味覚も小さい頃の家庭の食卓で育ちます。フランス全土の小学校で行なわれている味覚の授業をもとに、親子で甘い・辛い・酸っぱい・苦いやうま味などの味覚のしくみを学び、併せて五感を育てていきましょう! お父さんとの参加も大歓迎です。

日時 1月21日・2月18日・3月3日・17日の土曜日 午前10時～正午 (全4回)

場所 公民館白梅分館

講師 木村陽子氏(管理栄養士)

対象 市内在住の親子(子どもの年齢は5歳から小学校4年生まで)

定員 先着15組

参加費 一組500円(材料費)

申込み 12月20日(火) 午前9時から参加費を添えて白梅分館窓口へ。

添えて白梅分館窓口へ。